## 2019年7月某日

| 差枚 | -1388枚 | RANK | B<br>（黄門は高設定と判断） |
|---|---|---|---|

## 実戦機種

SLOT魔法少女まどか☆マギカ2、パチスロ黄門ちゃま 喝、
パチスロ蒼天の拳 朋友

## 実戦レポート

前回の実戦でリゼロを解禁した今、オレに死角は無くなった！　さーて、今日も早い番号引いたらリゼっちゃうぜぇ？とイキりながら引いた番号は…「27」。あ、はい、普通に立ち回りまーす。

しかし、ここでいう「普通」というのがなかなか曲者である。もちろん、このお店での過去の高設定投入履歴をもとに予想を立てるのだが、全台系の機種も特定末尾も、そろそろ打ち手に読まれないようパターンを変えてきている気配がする。そうやってアレコレ悩んでいるうちに、結局「好きな台を打とう」ってなるんだよな。高設定だった時もそうじゃない時も、精神的なプラス効果が大きいので、気持ちも含めた期待値はそれがもっとも高いのだ。

というわけで、またまた“いつもの”まどマギ2から始めちゃったんですけど、朝イチは高確スタート、そして低確に落ちてからのスイカですぐCZに当選し、「おやおや」と思っているところにCZ1G目でのボーナス。そこから突入したARTが非常に好調な上乗せを見せ、いきなり2000枚近くのメダルを確保できるとは、今日こそヤレるまどマギ2か!?　…と思っていたのも昼過ぎまで。ボーナスを何回引いても高設定示唆セリフは出ないし、その他の設定差のあるボーナス・高確移行・CZ関連の抽選も音沙汰ナシだし、勝っているうちに台移動するのが吉か。

で、次に選んだのはこちらも得意の「パチスロ蒼天の拳 朋友」。先月このお店に来た時、全台高設定のシマになっていたらしいのだが、最後まで埋もれていたようなので、それなら2ヶ月連続もあるか？との狙いだ。しかしこれが大誤算。最初のAT当選までに1000枚ほど使わされ、まどマギ2のプラス分はもはや風前の灯火に。しかも、高設定らしき要素もないうえに、店内の様子はどうやら末尾7の台が好調の様子。移動先も見つかりそうにないぞ…。

もうパチンコの移動先すら考えていたオレだったが、そこへスッと出される助け舟。バラエティコーナーで打っていた常連のユーザーが、「隣の黄門ちゃまが高設定挙動で空いてますよ」というのだ。サンプル数は少ないながら、CZ当選率が設定6を遥かにぶっちぎって良いというので「それならば」と移動すると、確かに310ルーレットでのCZ＆ATの当選率は高設定のソレ！
次々と当選する印籠チャンスを、「こうなりゃ期待値MAXで行ったらぁ～！」とほぼ全て表挑戦で消化すると、ほぼ全てスカった…。これだけ当てているのに、全く増える気がしない！
そうこうしているうちに、もう大量上乗せしても消化しきれない時間になってしまったので、最後は末尾7の蒼天をちょっとだけ打ち、「偶数設定だな」ということだけ確認。黄門でB級か…。